

# 物価高から暮らし守れ

区民アンケートのご協力  
ありがとうございます

これが区民の声です

結果の全文は  
こちら→

教育でやってほしいこと

先生増やし少人数学級に ...	35.7%
教材費無償化 .....	31.3%
エアコン新しく .....	25.2%

## 先生増やし 少人数学級早く

9月議会に教員定数増と少人数学級実現を求める請願が出され、党区議団は採択を主張しました。都中学校長会と副校長会も教員を増やし、来年度から 35 人学級を全学年で実施することを求める要望書を都教育庁に出すなど、先生を増やし少人数学級を実現することは、先生と区民の共通の願いです。

## 3.7億円で教材費・修学旅行費は無償化できる

教材費無償化では党区議団は2年連続で予算修正提案し、今年3月には教材費と修学旅行費、卒業アルバムの無償化へ 3.7 億円の予算修正を提案。学校のエアコンは、今年2月の本会議質問で、設置後 20 年経ったエアコンが小学校 135 台、中学校 28 台あることを明らかにし、一刻も早く新しくするよう求めました。

## また!? カビ・さび 発生 抜本的な改修工事が不可欠

今年8月31日に総合体育館のプール利用者から、更衣室とシャワー・プールエリアの間の戸が壊れて閉められず、更衣室の天井が湿気を吸ってカビだらけになっているとの情報が寄せられました。党区議団が確認すると天井材は落下の危険があり撤去されましたが、更衣室のロッカーは鍵穴が錆びて多数が使えず、プールガラスのステンレス枠や底状の所にも錆が広がっていました。現在プールエリアは工事中ですが、総合体育館は 2013 年4月の竣工当初からカビ・錆が大問題となっており、館内全体の排気能力を向上させるなど指定管理者まかせでなく、区の責任で抜本的な改修が求められているのではないのでしょうか。



更衣室の天井 = 落下の危険があり撤去されている

福祉でやってほしいこと

国保・後期高齢者 保険料値下げ .....	44.8%
介護保険料利用料値下げ ...	32.8%
特養・グループホーム増設 ...	28.1%

## 国保、介護 後期高齢保険料は値下げを

国保、後期高齢、介護の保険料が大きな負担です。国保の子どもの均等割解消は 1.4 億円、高齢者（非課税者）窓口負担無償化は 8.3 億円で実現可能で、繰り返し予算修正提案しています。区の 24 年度決算剰余金は 80 億円で財政的には十分可能です。

## 千駄木の郷の労働者の雇用守り安心の介護を

区内では白山の郷に続き千駄木の郷も運営法人が撤退表明しました。利用者からの「これまでお世話になったスタッフの方に引き続き働いてほしい」という声を受け、党区議団は今勤務している介護労働者の雇用と労働条件を守り、利用者が安心して介護を受けられる環境を確保すべきと求めました。特養・グループホームの増設も求める声は強く、早急実現すべきです。

## 暮らし悪くなった 68.1%

その原因

95.1%	物価高
48.2%	医療・介護・ 税の負担増

地域経済でやってほしいこと

家賃・リース代・ 光熱費支援 .....	44.4%
賃上げ支援 .....	24.1%
キャッシュレスポイント 還元の回数増 .....	14.8%

## 地域経済活性化へ 区独自の給付金や家賃支援を

2025 年に区が実施した「若者計画」策定の調査では、「居住費の負担が大きい」との回答が 6 割に上りました。実質賃金は 9 か月間マイナスが続き、10 月からは 3,000 品目値上げされ、くらしの厳しさが一層増えています。こうした中、党区議団は物価高騰対策として住民税非課税・均等割りのみの方々等へ区独自の給付金支給や家賃助成を求めました。

4 月に施行された文京区公契約条例では労働報酬下限額は 1,295 円で施行 13 区中最下位です。世田谷区は最低賃金より高い 1,460 円であり、地域経済活性化の要となる下限額を引き上げ、中小企業支援強化に取り組むよう要求しています。



## 貯め込み金 538 億円

## 暮らし、福祉、地域経済支える財源は十分あります

昨年度、区が余らせた税金は前年と比べて4割以上も増えて 80 億円に達しました。また、自治体の黒字率である実質収支比率は、適正値の 3 倍を超える 10.8%で、さらに、貯めこみ金は 538 億円を確保しています。その結果、1 に近いほど財源に余裕があると

## 区財政は潤沢

される財政力指数は 0.62 で、23 区の中で上から 7 番目です。教育条件・環境を向上させ、国の福祉削減の影響をくい止め、物価高騰で大変な中、暮らしと地域経済を支援するための財源は文京区に十分あります。

## えっ!? たばこ増税で 軍事費調達 大軍拡でなく税金は暮らしに使って!!

自民と維新の政権合意で発足した高市内閣は、参院選で示された消費税廃止・減税、裏金問題などの国民要求を棚上げし、改憲・大軍拡、比例定数削減と社会保障の切り捨てを進めようとしています。軍事費（関係経費含む）は GDP 比 2 % への増額を前倒しし今年度中に 11 兆円にするなど大盤振る舞いの一方、給食の

無償化は財源を言い訳に足踏みし、教育や国民生活支援に背を向けています。

大軍拡への態度は区議会でも問われます。来年度から 4 年間でたばこ税を 1 箱 70 円～130 円値上げする条例改定が 6 月に審議された際、党区議団は増税の目的が「防衛増税」＝大軍拡であることを明らかにさせ、唯一反対を貫きました。

議案第 2 号  
文京区特別区税条例の一部を改正する条例

共産 5	自民 9	公明 4	AGORA 4	維新 2	永久 2	市民 2	子育て 1	都ファ 1	主役 1	希望 1
×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○





# 区民の声で区政を動かす

## 出店ラッシュの民泊 住環境守る立場で規制充実を

### 「騒音やごみのポイ捨て心配」 の声

文京区内の民泊件数は今年9月時点で325件で、今年3月の259件に比べて66件増加しました。最近ではマンションを一棟丸ごと民泊にする計画もあり、住民からは「酔った観光客が大きな声を出さないか」「ベランダからのごみのポイ捨てが心配」などの声も寄せられています。

江東、荒川、目黒、中央区は区内全域一律で民泊営業可能な日数を週2日間とし、中央区では届け出する場合は周辺住民への説明会を求めています。最近では豊島も規制強化に向けて動き出しています。文京も区民の住環境を守るために、規制ルールの強化と説明会の開催を義務付け、民泊営業の標識は建物の出入口に見えるように掲示することが必要です。

## 資源ごみコンテナ設置・回収 「検討する」と区答弁

文京区のビン・缶・ペットボトルの資源ごみコンテナの設置や収納は住民が行っていますが、担い手は主に高齢者で「負担が大きい」という声が党区議団に寄せられていました。豊島区は清掃事業者が行っており区民の負担がなく、隣接する地域の住民からの「文京でも区がコンテナの設置と回収を行ってほしい」との声に区は応えていません。



### 党区議団繰り返し 「区が実施を」と要求

党区議団は、議会で資源ごみコンテナの設置や回収を区が行うよう繰り返し求め、今年10月の決算委員会では他党からも促され、区は「検討する」と答弁しました。来年度から速やかに実施するよう引き続き要求します。

## 小学生が安心・安全に過ごす 「朝の居場所」確保早く

### 23区中7区が取り組み、 パンやおにぎり提供の区も

保護者の仕事などで学校始業前に登校せざるを得ない小学生が、校内で安心・安全に過ごす「朝の居場所」を、23区内で港、品川、世田谷、杉並、豊島、江戸川、江東の7区が実施しており、品川ではパンやおにぎりなどの朝食の無償提供も今年度中に始めるとしています。党区議団は22年6月の本会議質問で、学校が始まる前に校門前で待つ間、雨が降ればつらい体験となり、事故が起きたら取り返しがつかないと「朝の居場所」確保を求めています。区は「朝の居場所」確保を「検討する」としていますが、子どもたちの安心・安全の確保のためにも一刻も早い実施が求められます。



## 「涼み処」のマイボトル用 給水機

### 杉の木600本分のCO<sub>2</sub>削減



熱中症対策として区有施設の一部を開放する「涼み処」に今年度から設置したマイボトル用給水機の7、8月の水使用量が500ミリペットボトル換算で約4万4千本分の2万2千リットルあり、CO<sub>2</sub>排出削減効果が約600本分の杉の木の年間吸収量に相当する約5200kgだったことがわかりました。

### 利用促し設置増で気候危機対策強化を

マイボトル用給水機はペットボトルの使用量を減らし、CO<sub>2</sub>削減に寄与することから、設置数を増やし「涼み処」ののぼりをマイボトル用給水機の利用を促すデザインにするなど、記録的な猛暑や豪雨の原因である気候危機対策を文京区からも積極的に進める必要があります。



くらしの安心、平和をまもりぬく  
**日本共産党文京区議団**  
TEL 5803-1317 FAX 3811-3197

## シビックは来年度から議会フロア改修に30億円!?

### 一方、築45年の白山・千駄木交流館建替えは2034年以降に「検討」

文京シビックセンターには31年間で1437億円の税金が投じられました。大規模改修の区民説明会すら開かず、建設コスト高騰の中でも今年度は改修に20億円、来年度からは議会フロア改修(21～25階・仮フロア含む)に30億円を注ぎ込む構えで、シビック改修は2027年度以降も続きます。

一方、築45年の白山・千駄木交流館は「2034年以降に更新の検討」と言い、不忍通りふれあい館(築28年)は大規模改修計画がなく、築63年の浅嘉町公衆便所(本駒込1)は洋式化の計画すらありません。このようなシビック最優先は認められません。



千駄木交流館の建替えはまだ先に！

### 国際 バカロレア

## 区長主導での教員研修は 政治家による教育への介入

区は3月に区長名で国際バカロレア機構(本部:スイス、以下IB)と覚書を結び、区教育委員会はIBが提供するプログラムによる区立学校の教員研修を8月から実施しています。英語で書かれたプログラムの翻訳とオンラインでの研修は「知的財産権保護」のため、IBが指定するシルバーファンホールディングス(株)に随意契約で発注されました。

その際、区教育委員会は受託可能な業者が他にあるか「調査していない」と言い(9/29文教委での党区議団の質疑)、区長は決算委員会で「私の人間関係の中から、教育委員会の中で十分議論し、話を進めて欲しいと仲介した」と発言しています。特定の教員研修を区長が推進することは、教育への区長の介入であり検証が求められています。

※国際バカロレアとは多様な文化の理解と尊重の精神を通じてより良いより平和な世界の実現に貢献できる探求心、知識、思いやりに富んだ若者を育成することを目的とする国際的な教育プログラムのこと。(2025.1月29日庁議資料より)